

輪島市との連携概要書

自然の恵みを活かした魅力的なまち



石川県輪島市は、日本海のほぼ中央に突出している能登半島の北西部に位置しており、伝統工芸品である輪島塗や曹洞宗大本山總持寺祖院など豊かな文化・歴史を有しています。平成23年6月に輪島市を含む能登の里山海海は、国連食糧農業機関（FAO）から世界農業遺産（GIAHS Globally Important Agricultural Heritage Systems）の認定を受けました。これは、能登の伝統的な農林漁法・土地利用、多様な生物資源、優れた里山景観、後世に伝えたい伝統的な技術・文化・祭礼が世界的に評価されたものです。



白米千枚田



總持寺祖院



海女漁



輪島塗

「漆の里」「禅の里」「平家の里」で魅力発信

漆の里：輪島塗の特徴としては次の4つが上げられます。1.天然の木材2.天然漆3.輪島地の粉4.布着せ 輪島塗は完全分業制で、完成までに木地、塗り、研ぎ、上塗り、加飾（沈金・蒔絵・呂色）といった各工程を担当する職人の技と魂が吹き込まれます。
禅の里：曹洞宗大本山「總持寺祖院」は、鎌倉時代の半ば、1321年に曹洞宗の初祖「道元禪師」から四代目の「瑩山（けいざん）禪師」が開創。毎年大晦日の夜には、地元商工会議所、商工会が中心となり、山門前での御陣乗太鼓の実演、開運餅まき等の「ゆく年くる年」のイベントが行われている。
平家の里：「本家・上時国家」「能登安徳合祀時国家」は、源平・壇ノ浦の戦いで敗れた平家一門のうち武将・平大納言時忠の末裔と呼ばれる時国家の豪壮な邸宅。

◎行政区：石川県輪島市（H18.2.1 に輪島市と門前町が合併）

◎市長：梶 文秋（かじ ふみあき）

◎交通：【飛行機】羽田空港一のと里山空港 約1時間

【新幹線】東京一金沢 2時間28分

【バス】金沢駅一輪島駅 約2時間

◎面積：426.32km²（境界未定部分有り）

◎人口：28,426人 12,671世帯（H28.4.1現在）

◎主産業：輪島塗、農林漁業、観光、林業加工

◎主要農産物：米、ミニトマト、アスパラガス、しいたけ

◎主要海産物：ふぐ、海女採りアワビ・サザエ・わかめ



東京農業大学との関係

①白米千枚田の名勝選定

平成13年に白米千枚田が国指定文化財名勝の指定に際し、「白米の千枚田保存管理計画策定委員会」が設置され、麻生恵教授が委員を務めた。

②三井町との地域連携活動

地域環境科学部造園科学科麻生恵教授の研究室の夏合宿が平成18年から輪島市三井町で始まり、里山景観についての調査や魅力発見ワークショップ、マップづくり等を地域住民との連携で行ってきた。

③「地域づくりフォーラム」への参加

総研研究会地域再生研究部会主催の「地域づくりフォーラム」に輪島市三井町在住の山浦氏が出席、農大との交流活動やその成果について報告した。

④大沢・上大沢の重要文化的景観選定に向けた活動

大沢・上大沢地区の重要文化的景観選定に向けて、麻生恵教授及び荒井歩准教授が輪島市文化的景観調査検討委員会委員を務め、景観調査や保存管理計画策定などを行い、平成27年には重要文化的景観に選定された。

東京農業大学出身者

本口夏美（輪島昆虫クラブ主宰、造園科学科卒、平成19年移住）

山本亮（輪島市地域おこし協力隊、造園科学科卒、平成26年移住）

棟近貴之（谷川醸造、造園科学科卒、平成27年移住）

白藤喜一（白藤酒造、醸造科学科卒）

皆森齋（元県職員、林学科卒）

今後の交流の可能性

①地域づくりに関する事項

- ・輪島市三井町を中心とした里山景観の保全とそれらを活用した地域活性化
- ・課題解決及び人材育成による輪島への学生インターンシップ

②地域産業の振興に関する事項

- ・漆器産業のブランド強化・発信
- ・発酵食等の輪島の食のブランド化

③芸術・文化・歴史の保全・振興に関する事項

- ・伝統的な景観に対する保全活動

④環境保全・生物多様性の向上に関する事項

◆東京農業大学の窓口教員

造園科学科教授 麻生恵、造園科学科助教 栗田和弥

◆輪島市の担当窓口

輪島市交流政策部企画課 課長 中前豊（なかまえゆたか）

主幹 野中淳也（のなかじゅんや）

〒928-8525 石川県輪島市二ツ屋町2字29番地

TEL：0768-23-1113 FAX：0768-23-1855 E-mail：kikaku@city.wajima.lg.jp

締結日 2016/10/7